

課題

課題1

piano.mp3に対してエコーを付加し、
piano_echo.wavを再現せよ

piano.mp3 

piano_echo.wav 

方針：ディレイ時間や減衰倍数を色々と変えてみる

設定した値はメモしておくこと

⇒レポートに追記する

課題2

drum.wavに対してリバーブを付加し、
drum_reverb.wavを再現せよ

drum.wav 

drum_reverb.wav 

各種パラメタを調整

- プレビューやCommand + Z (**Undo**) を活用
- ルームサイズ、プリディレイ、減衰、ダンピング、ウェットゲイン を調整 ※値はメモしておく

完全再現は難しいが、波形も確認しながら挑戦

課題 3

guitar.wavに対してディストーションを付加し、
distortion.wavを再現

guitar.wav 

distortion.wav 

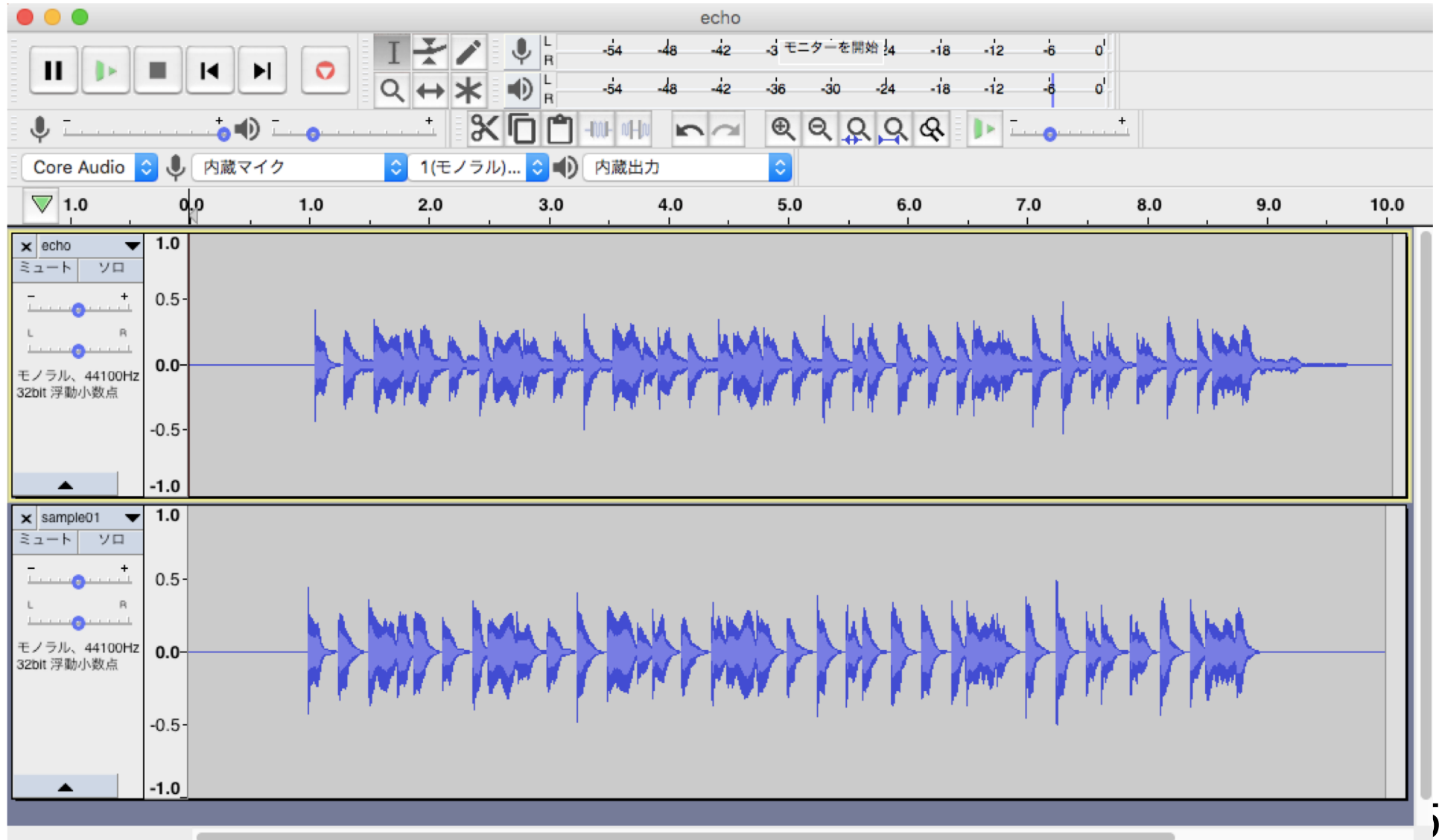
各種パラメタを調整

- プレビューやCommand + Z (**Undo**) を活用
- クリッピングレベル、ドライブを調整
→ メイクアップは60に設定

波形も確認しながら再現に挑戦

作業イメージ

- 2つの音声ファイルをD&Dした例



提出物

- 以下をZipにまとめる（学籍番号_1104.zip）
 - ドキュメント（学籍番号_1104.docx）
各課題について載せてほしいもの
 - Audacityで設定した値
 - エコーなどをかける前後のスクショ（波形）
※本PDFの5ページ目のようにしてもよい
- 音ファイル
 - echo.wav
 - reverb.wav
 - distortion.wav

補足

音声の保存

「ファイル」→「書き出し」→「WAVとして書き出し」



ショートカットキー

- Undo ... Command + Z
- Redo ... Command + shift + Z

※エフェクトをかけたあと、やり直したりする
ときに便利

サンプルの音声の場所

Teamsの「ファイル」からたどって、

1. 「第7回講義資料」の「サンプル音源.zip」をダウンロード
2. サンプル音源.zipを解凍
3. echo.wavやdrum.wavが見つかります